

商工振興ビジョンロードマップおよび事業実施計画 (平成 27~31 年度)

1. 総合計画による業務全般にかかるアウトカム指標

商工観光課関連の総合計画における主な施策とアウトカム指標					
基本目標	政策	施策	指標 (アウトカム)	現状値	目標値
2 環境・創出のまち	3 まちを支え、活力を創出する産業のまち	商工業の振興と就労推進のまちづくり	商工業を振興するまちづくりが推進されていると思う市民の割合	19.9%	26%
3 愛着・交流のまち	3 広域・近隣とのつながりを促進する交流のまち	地域資源を活用した観光振興のまちづくり	地域資源を活用した観光を振興するまちづくりが推進されていると思う市民の割合	22.1%	30%

2. 総合戦略・商工振興ビジョンロードマップに係る KGI・KPI 設定

商工観光課関連の総合戦略と KPI				商工振興ビジョンロードマップおよび事業実施計画の KPI 設定					
基本目標	数値目標	具体的施策	KPI 【商工振興ビジョンの KGI】	具体的取り組み	前半期 ロードマップ	KPI			事業名
						H30	H29	H28	
しごと	○就業者数 34,853 人 (H26) → 36,000 人 (H31) ○事業所立地数 2,908 件 (H26) → 3,000 件 (H31)	中小企業・小規模事業者の経営基盤の強化による競争力の向上	○市内事業所の総売上額 7,960 億円 (H24) → 8,756 億円 (H31) ○開業 (創業を含む) 事業所数 157 件 (H24) → 220 件 (H29) ○商工業を振興するまちづくりが推進されていると思う市民の割合 19.9% (H26) → 26.0% (H31)	○創業希望者等への相談、支援体制の構築 ○既存事業の見直し等による中小企業などの支援拡充 ○市内中小企業などの情報発信による周知啓発	中小企業の経営基盤強化	H30	H29	H28	中小企業等信用保証料助成制度 りっとう創業塾の実施 創業支援希望者の支援体制の確立 栗東市小規模事業者持続化補助金制度 ビジネスチャンス拡大「りっとう元気力向上相談会」事業 空きテナント活用によるチャレンジショップ事業 小規模企業者支援のための「(仮称) 出向くコンシェルジュ制度」の創設
しごと		消費者ニーズを踏まえた事業展開の支援	○消費生活における市内での購買割合 H28 調査結果数値の 10% 増加 (H31)	○産官学協働による商品開発並びに販売促進 ○消費者、事業者等とのマッチングによる事業展開	消費者ニーズ創出	○消費行動変動要因に沿った事業展開			消費者ニーズ等の調査事業の実施 域内調達拡大運動
まち	○20~40 歳代の人口	市街地の活性化と地域拠点をつなぐまちづくりの推進	○空きテナント数 H28 調査結果数値の 10% 削減 (H31)	○栗東駅前周辺まちづくり基本方針に基づくプロジェクトの推進 ○商業店舗滞留及び回遊のための仕組みづくり	ブランド創出	○認証制度実施による効果測定			シティセールス戦略等による栗東ブランド事業
まち	現状人口の維持 (29,500 人) ○観光入込み客数	地域資源を活用したブランドづくりとシティプロモーションによるまちの魅力発信	○栗東ブランドの認証件数 0 件 (H27) →20 件 (H31)	○馬を活かしたまちづくりの推進 ○シティセールス戦略を書くとしたまちの魅力発信 ○再生可能エネルギーの推進	栗東駅前・手原駅前 の賑わい創出	○具体的な空きテナント対策による効果測定			栗東観光案内所の運営体制の拡充 空きテナントの現況調査と活用検討 既存のまつり等のイベントの検証と見直し
まち	481,700 人 (H26) → 514,000 人 (H31)	観光事業の推進	○観光を振興するまちづくりが推進されていると思う市民の割合 22.1% (H26) → 30.0% (H31)	○地域着地型観光事業の推進 ○馬を活かしたまちづくりの推進【再掲】	観光事業推進	○戦略的な観光振興に向けた施策による効果測定 ○金勝めぐりちゃんバスの効果測定			地域資源活用による観光事業の推進 湖南 4 市の広域観光の効率化に向けた連携拡充 観光客向けのマップやパンフレットの拡充

※なお、商工振興ビジョンロードマップに基づく事業実施計画に掲げる事業は平成 28 年度分のみを記載